

## 海外安全対策情報（2024年7月～9月）

在ベネズエラ日本国大使館

### 1 社会・治安情勢

当地NGOの統計によれば、2024年7月～9月に発生した抗議デモの件数は2,014件で、前年（1,338件）比で約151%増加（676件増加）しました。特に7月28日に実施された大統領選挙において「マドゥーロ大統領勝利」の結果を不服として、全国各地で選挙証書の公表を訴える抗議デモが発生し、デモ参加者と治安当局との衝突により死傷者や多数の逮捕者を出しました。その後、散発的に与野党が主導する集会やデモ行進が行われましたが、いずれも暴動には発展しませんでした。9月に入ると、テロ容疑等で身柄を拘束された市民の家族が、その釈放を求める集会やデモを行ないました。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

#### （1）全般

当地治安当局によれば、2024年7月～9月の全国の犯罪発生認知総件数は前年同期比で約18%減少しました。一方、カラカス首都区においては、殺人、強盗、窃盗事件が増加傾向にあります。

#### （2）各論

同当局によれば、殺人事件の主な原因は家族間トラブルや男女関係のもつれに起因するものであるとのことです。全国的に、治安当局への抵抗による殺害事案が、7月から9月の間に377件発生し、前年同期比で増加しています。

#### （3）邦人等の被害事案

なし。

### 3 薬物・銃器事件発生状況

報道等によれば、8月26日、シモンボリバル国際空港において、アフガニスタン行きのコーヒーを積載した貨物から3トンのコカインが押収されました。治安当局からの話では、大量の薬物が密輸される背後には、ミクロトラフィコと呼ばれる少量の麻薬密売が蔓延しているとのことです。治安が悪いとされている貧困地区以外にも、観光客が集まるリゾート地でも薬物の密売が横行しています。麻薬密売には犯罪組織が介在しており、密売人は武装している可能性が高く、万が一密売を持ちかけるような場面に遭遇してしまっても、絶対に手を出さずその場から離れてください。外出の際は、事前に外出先の治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段を十分に検討してください。

### 4 誘拐・強盗事件発生状況

7月にカラカス東部のミランダ州内において、身代金目的の誘拐事件が1件発生しました。また、カラカス首都圏の比較的安全とされている地域でも強盗事件が増加しており、脅迫の際に凶器や拳銃が使用されています。外出の際は、事前に治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段、時間帯を十分に検討してください。また、安全といわれているような場所でも周囲に対する警戒を怠らないようにしてください。